



萩よりだより協社

おじいちゃん・おばあちゃんの 知恵を子どもたちに

Vol. 73

2018
4/1

むつみ地域世代間交流拠点施設では、季節を感じる小物や門松づくり、昔の遊びを通して、地域の風習などをおじいちゃん、おばあちゃんが子どもたちに伝えています。

きっと大人になったとき、地域のやさしさや温もりを人から人へ伝えてくれることでしょう。

缶バッジ着用中



手を取りあって、明るいあわせな社会を建設する姿を表現。

新年度を迎えて

― 役職員一体となつて ―



会長 大島 昌子

厳しい寒さに見舞われた今年の冬でしたが、ようやく心地よい日射しの春を迎えました。

萩市社会福祉協議会も3名の新入職員を加え、新年度をスタートしたところです。

市民の皆様には、本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成30年4月1日施行の「社会福祉法の一部の改正」においても、

(1) 地域住民等は……

(2) 市町村は……

(3) 市町村及び都道府県は……

と、それぞれが取り組むべき姿勢が記されていますが、そこで「少子高齢の人口減少社会」という我が国が抱えている大きな課題は「地域力の強化」であり、地域全体が直面する

課題を、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、誰もが役割を持ち活躍できる地域共生社会の実現が求められていると、説明しています。

その課題の一翼を担う立場にあるものとして萩市社協では、昨年度二部の研修会を行い、役職員一体となって萩市の福祉について学習しました。

一部は、9月22日と10月10日に役員・評議員が萩市社協職員から現在行っている仕事内容全般について説明を受けました。

何ぶん多岐にわたるため、そういうことをそういうふうに行っていたのかと新しく認識したことも多くありました。

二部は、12月21日に理事でもある市保健福祉部の板井昭憲部長を講師として、萩市の福祉行政の概略説明（萩市の現状と保健福祉部主要プロジェクトの概要について）と萩市総合福祉センターも入ることになる新庁舎の説明（仮称「新萩市総合福祉センター整備事業」）を受けました。

さらに今年度は、市や関係諸団体や市民の皆様と話し合いを重ね、今まで以上に萩市の福祉に連携して取り組んでいかなければならないと感じています。

現在、平成29年度に引き続き旧萩市内や離島での地区社協づくり

を、その地区の方々と共に進めています。

また、11月6日にサロン担い手研修会を行いました。萩市には住民主体のふれあい・いきいきサロンが97か所あります。

それぞれのサロンで独自に企画・運営されていますが、サロンでの取り組みが高齢者の引きこもり防止・介護予防の推進にもなり、健康寿命を延ばす一助となっています。

この日の研修会では、サロン担い手の方々にお互いの情報交換や自身のリフレッシュの機会としていただきました。

萩市社協では、色々な方面からの地域連携、ふれあい・助け合い活動を手助けさせていただいています。

災害ボランティアもその一つで、5年前に初めてセンターを立ち上げて以来、多くの市民の方が関心を持ってきておられます。3月18日の講座は、実技も加えて好評でした。ニーズがあれば、若い層にもこの講座を役立てていただきたいと思っています。

新入職員の紹介



相談支援係
小林優香子

色々な経験ができることを楽しみにしています。笑顔を絶やさず、親しみを持ってもらえる職員になれるよう頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



地域福祉推進係
村岡 美里

萩市がより良い町になりますよう、幅広い知識を身に付け、経験を積み、地域の皆様と一緒に誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



総務係
福田幸太郎

関わる人すべての人の笑顔のため、そして萩市の福祉による暮らしやすい町づくりのために日々の業務に励んでいきたいと感じています。よりよい福祉活動の実現に向けて頑張ります。

役職員一体となって

社会福祉法人の制度改革にとともに、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、そして財務規律の強化を図るとともに、「地域における公益的な取組」を更に実施することが求められています。

昨年、理事及び評議員の定数を変更し、評議員については一新しました。そこで、役員及び評議員の皆さんに社協活動を理解していただくために研修会を行いました。

内容としては、各事務所の顔の見える身近な圏域において小地域福祉活動推進事業に取り組み、そ



第2回役員・評議員研修会

の後、地区社協設置推進事業や生活支援体制整備事業に移っていく中で、市社協の職員がどのように地域と関わってきたのかを、また高齢者世帯のゴミ出しや高齢の親と無職独身の50代の子が同居した世帯の課題に職員としてどう向き合ったのかを説明しました。その他にも生活支援体制整備事業、地域福祉権利擁護事業、資金貸付事業の実施状況についても報告しました。

第2回として、萩市の福祉行政について、保健福祉部長から役員、評議員の皆さんに説明していただきました。萩市の現状や直面する地域課題、国が進める「地域共生社会の実現」に向けてどう取り組むかという課題もあることを確認することができました。

地域福祉を推進するためには、行政と社協が協働していく必要があります。それがあつてこそ、地域ぐるみの取り組みが可能となります。第3回は、ぜひ萩市との意見交換会が行えればと考えています。

この2回の役員・評議員研修会を通じて、理事も評議員も、職員と一体となって、地域課題の解決のために取り組んでいくことが、社協の使命と改めて感じました。

(兼重 徹)

平成30年度 事業計画・予算概要

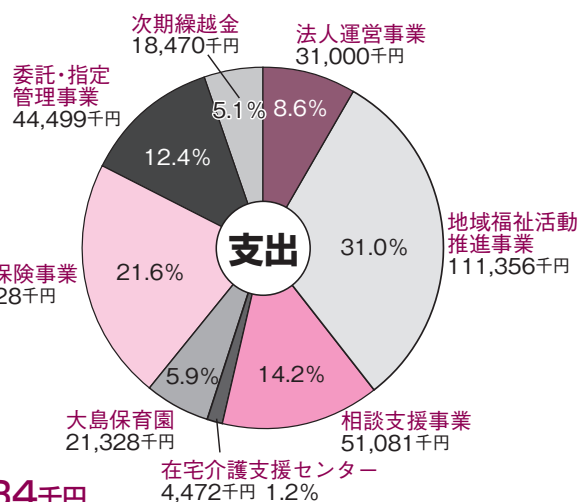
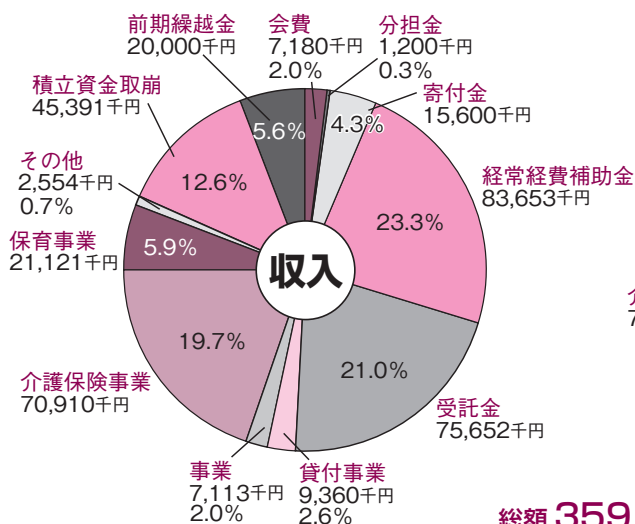
本会では、地域住民が主体的に地域の生活福祉課題を話し合い、それぞれの地域にあった取り組みを柔軟に進めていくことができるように、地区社協活動の設置推進と育成支援に努めてきました。また、新しい総合支援事業（地域支援事業）において、住民主体で行う生活支援サービスの仕組みづくりの推進にも取り組んできました。

今後も、地域の特性や実情を踏まえつつ、市内全域に広めるため、地域の皆さんと共に進めていきます。

重点目標・事業

- 地区社協の設置推進及び育成支援
- 生活支援体制整備事業の推進
- 福祉教育の推進
- 相談支援事業の推進
- 介護保険事業所の安定的な経営
- 萩市社会福祉大会の開催
- 今年度の特別講演は「健康」をテーマ
- 萩市地域福祉推進セミナー開催
- NHKドラマ「サイレント・プア」で注目を集めたスーパー社協ウーマンに講演

平成30年度 予算概要



総額 359,734千円

怒り



うまく付き合いつまぐ付き合い後悔しない人生を

1月21日、男女共同参画推進セミナー・高齢者虐待防止研修会を開催しました。

「イライラとうまく付き合おうより好い人生を送るために」と題して、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会の梶田多恵子さんが講演されました。

講演では、人間にとって自然な感情である「怒り」がどんなものであつて、どうして起こるのか、起こったときの対処の仕分け方等々、怒りへの衝動のコントロール、思考のコントロールや行動のコントロールの視点からとらえて話されました。

怒りは、身近なところで連鎖すること、それを断ち切ることが重要であると強調されました。一方、怒りがエネルギーとなる面も紹介され、参加者は、虐待防止にもつながる怒りとうまく付き合うことが、後悔しない人生になることを学びました。

第6回

明るく楽しい介護川柳

介護している人、介護されている人を地域で温かく見守り、励ましたい、そんな願いで介護川柳を募集しました。ジュニアの部は、市内小中学校から550人932作品、高校生・一般の部は、164人282作品の応募がありました。入賞作品を紹介します。



【萩市長賞】

差し出す手助ける役目まごの僕

椿西小四年 上村 兼士

無駄の無い、テンポの良い表現の中に、家族の皆で介護をしていて、差し出される祖父母の手に、自分の役目をしっかりと自覚している様子が見える佳句です。

抱きしめて抱きしめてまた介護する

宮本 英二

介護する人の、される人への愛の強さを感じます。「抱きしめて」を重ねることで愛情を込めて介護している優しさがしみじみ伝わってくる、いい句ですね。

【萩市教育長賞】

おじいちゃん一歩あるけたもう一歩

明倫小五年 松隈 雄

おじいちゃんをしっかりと介護し励ましている姿が伝わってきます。一歩また一歩の前進が頼もしいですね。

しわとしわ手と手合わせて助けあい

原 美輝

まさに老老介護を詠んでいる句ですね。ほんわかとユーモアも感じる深みのある句です。

【萩市社会福祉協議会長賞】

段差つておてつなげばへっちゃらさ

明倫小六年 武安 優奈

脚が弱っているお年寄りには、段差は転倒の危険な要素です。でも、私と手をつないでいれば「へっちゃらさ」が、力強くていいですね。

血が通う老老介護泣き笑い

中村 安之

老老介護は人と人との絡み合い、愛もあり、苦もあります。血が通うというのは血肉を分け合った間柄もあり、心の通い合う親密さもあり、辛さの中に、喜びも悲しみもあるのです。

【萩川柳会長賞】

つぎはばくいままでの分恩返し

越ヶ浜小五年 秋守 美咲

簡潔な表現が良い句です。たくさん面倒をみて、育てていただいたことに感謝しています。だから、次ははくが恩返しする番だとの、感謝を忘れない気持ちが尊いですね。

顔上げて一人じゃないよみんないる

伊藤 百絵

介護を受ける人の孤独感に寄り添い、多くの人が手を差し伸べているんだと、俯いている人を力づけています。介護の絆の輪を感じます。

【井上剣花坊顕彰会長賞】

大丈夫ばくが手となり足となる

明倫小五年 中村 海登

介護を受ける人の、不自由になった手や足の代わりをしてくれるという優しい保証。嬉しい限りです。

すまんのうきがねせんでもたよってね

岩本 一美

する人、される人の対話で、簡潔に介護の現場を詠んでいます。全部ひらがなで表現しているので、柔らかさ、温かさが伝わってきます。

顔見知りだからこそ運営できる地域カフェ

『江向カフェお陽さま』

江向1区の公会堂を利用した地域カフェがあります。どうしてカフェを始めようと思ったのか尋ねると、答えはとてもシンプルでした。それは、「みんな顔見知りやったからよ！」

認知症支援ボランティア養成講座を受講された際に、同じ江向の方が3名参加されていたそうです。「地域にこんなのあったらいいねえ」を話すうち、同じ地区に住むからこそ、「高齢者だけでなく、地域住民の集まる場所あったらいいよねえ、場所はあるところを使って、名前はお陽さまにして〜、太陽はSUN=3、毎月3日にカフェ開こうや〜」とトントン拍子で話は進んだそうです。「その場と同じ地区の人がいなかったら、きっと実現してなかったと思う…みんながおったから、話だけで終わらず、実現に向けて動き出せたんよね！」と振り返られます。

平成28年11月に話がスタートし、それから“顔見知り”の地域の福祉員や町内会役員など、仲間を増



毎月3日（1月は休み）、13時～15時オープン！
お子さんからお年寄りの方まで、どこにお住まいの方でも大歓迎！！

やし、回覧板等で周知し、平成29年4月にプレオープン、5月から本格的にオープンされました。

毎月、お茶を飲んでお話をし、季節にあった行事や健康体操をしています。参加者も、人が人を呼び、今では毎月大賑わいだそうです。「毎回終わった後に参加者も混ざって片づけや反省会するのが、またええんよね。世話役や参加者という立場は関係なく、みんなが主役の楽しいカフェになって嬉しい」と笑顔でお話されます。

こんな楽しい場がいろんな地域でできたらいいですね。ぜひ一度、遊びに行かれてみてはいかがでしょうか。
(河村 千佳子)



ボランティア活動紀行

萩市内で行われているボランティアの活動をシリーズでお伝えしていきます。

本の読み聞かせ

ジョイントネット萩「草の芽」



保育園、学校、図書館、障がい児施設、高齢者施設、イベントなどで本や紙芝居の読み聞かせをするボランティアです。

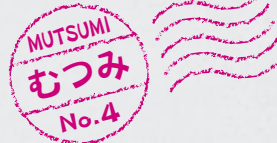
本の読み聞かせは、聞き手にいろんな効果を与えます。想像力や好奇心、語彙力が育つことはもちろん、感情が豊かになったり、安心感や幸福感を与えられるといわれています。

なかなか聞く機会のない方も、エフエム萩で、週替わりで1か月に2話オンエアされています。「小さい頃、お母さんに読んでもらったなあ」と懐かしみながら、聞いてみてはいかがでしょうか。



絵手紙は「下手でいい・下手がいい」

岡村 悦子さん



毎月1回むつみ園へ絵手紙ボランティアに行っています。「筆の上を持ってまっすぐ線を引きましょう」と始めます。



凸凹になっても、「いい線かけたね。これがいいよ。」と声をかけます。

また、つくしやふきのとうなど季節ごとの画材を用意し、季節の話をし、元気だったころのことを思い出してもらいます。

「皆さんと話をしたり、絵をかいてもらう中で、私も元気をもらいます。私が90歳になった時も、こうして絵をかいて元気にいられることが目標です。」と素敵な笑顔で話されました。



善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※平成29年12月1日～平成30年2月28日受付分(敬称略)

氏名	住所	備考	金額
萩			
長田 和司	江向3区の1	父/豪士	金一封
中村 正彦	新川西の2	母/チエ	金一封
藤本 浩次	山田1区	父/清	金一封
細井智恵子	玉江浦1区の3	夫/三郎	金一封
山本 晋也	長山	長男/将丈	金一封
横山 宏	上野の2	二女/早富美	金一封
岡 登志秀	後小畑の2	母/ヨシ子	金一封
明賀 由治	玉江浦1区の1	母/富美江	金一封
山根 公子	玉江浦1区の1	夫/徹男	70,000円
吉村 豊子	今魚店町	夫/龍人	50,000円
俵屋 忍	今魚店町	父/猛	金一封
菊屋 富夫	見島7区	義母/厚母京子	金一封
石戸 和義	見島10区	父/正一	金一封
吉村 実	長山	父/充	金一封
山根 繁和	青海	妻/郁子	金一封
仁浦フジ子	船津の1	夫/政市	金一封
松浦 嘉子	大井港上	夫/重雄	金一封
公文 雅敏	江向3区の1	母/サツ子	金一封
田中 睦男	浜崎3区の2	母/チヨコ	金一封
窪田 伸	玉江1区の1	母/千代子	金一封
山田 茂	無田ヶ原の3	父/孝義	金一封
品川サツキ	無田ヶ原の2	夫/武士	金一封
船戸 満	大島赤穂瀬前	妻/千恵子	金一封
山本 健二	平安古西区の2	母/フサ子	金一封
松浦岐美枝	大井浦上	夫/新吉	金一封
匿名			70,000円
山根 迪子	河添の1	夫/秀信	金一封
藤田 和美	山田1区	夫/擴	金一封
田中 鉄宏	大島赤穂瀬先	父/梅敏	金一封
下瀬 信雄	瓦町の1	母/安子	金一封
大山 節子	沖原	夫/干樹	金一封
岡 浩司	椎原の1	母/ヤス子	金一封
山野 勇	見島4区	母/トク子	金一封
多田 一馬	見島6区	母/静子	金一封
津村 和彦	堀内1区の1	妻/竟子	金一封
河上喜美恵	御許町の1	夫/素淨	金一封
角屋 孝男	玉江浦1区の1	父/七芳	金一封
林 里美	沖原	夫/治己	金一封
末永 和穂	平安古東区の2	夫/政彦	金一封
中村 良子	大井七重	夫/英夫	金一封
井上 静子	美祿市伊佐町	妹/古屋信子	金一封
樋口 克義	見島3区	弟/賢司	金一封
阿部 誠一	椿	母/浅子	金一封
俵田 智之	今古萩町の2	母/信子	金一封
木谷 妙子	土原3区の4	夫/要次	金一封
有田 榮一	青海	妻/マツエ	金一封
久保志津恵	椿町の3	母/キミエ	金一封

氏名	住所	備考	金額
川上			
立野 勢子	金谷の1	夫/治之	金一封
田万川			
須川 眞悟	小川18区	母/公子	金一封
長田美佐子	小川22区	夫/好夫	金一封
島田 恵市	下本郷	母/壽子	金一封
尾崎千代子	江津	夫/武男	金一封
藤井 英信	要二	母/フミ子	金一封
藤井 悦子	上本町	夫/信雄	金一封
角谷 京子	小川7区	母/幸子	30,000
山根 昇	下中町	母/ヨネ	金一封
山崎 直也	小川2区	父/勇	金一封
村上 英子	小川20区	夫/志朗	金一封
池畠 英子	小川12区	母/スミ子	金一封
俣賀 良雄	中組	子/和子	金一封
むつみ			
吉岡 隆	花見	妻/艶子	金一封
田坂 泰潤	鍛冶屋	母/ウメヨ	金一封
長田 克己	後井	父/悦治	金一封
中原 盛也	朝鳥	妻/慶恵	金一封
吉岡 之憲	岸高	母/鶴子	金一封
中村 槌栄	大光寺	父/正夫	金一封
大谷 洋二	御舟子	母/ハル	金一封
徳倉 照代	辻山	夫/照夫	金一封
須佐			
村上 孝志	下三原下	母/雪枝	金一封
大谷 貞子	弥富12区	夫/芳定	金一封
谷岡トヨ子	弥富10区	夫/進	金一封
小笹 勘次	弥富7区	父/徳雄	金一封
山本 昇	入江	母/アヤコ	金一封
椿山 純子	野頭	母/光枝	金一封
野村 順子	山根丁東	夫/立夫	金一封
藤井タマヨ	弥富5区	夫/康夫	金一封
藤村スミ子	弥富9区	夫/正一	金一封
篠原 光江	弥富11区	夫/光義	金一封
牧 富士雄	山根丁東	父/月雄	金一封
旭			
向田 笑子	古戦場	夫/勉	金一封
庄 由子	角力場	夫/政雄	金一封
井上 道子	高津	夫/正	金一封
福栄			
中村 房子	下蕨野	夫/悦巳	金一封
永岡 悦子	堀越	母/八重子	50,000円
原 愛子	紫福市	夫/良夫	金一封
安間 秀常	鎌浦	母/美沙代	金一封
田中浩一郎	黒川	祖母/薫子	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
河野 満子	越ヶ浜6区の2	社会福祉へ	10,000円
匿名		社会福祉へ	30,000円
株式会社エフテック	宇部市松原町	社会福祉へ	100,000円
匿名		社会福祉へ	10,000円
川 上			
岡村 正治	川上山田	交通遺児へ	12,406円
む つ み			
鬼村 一道	宮廻	一膳寄付	金一封

氏名	住所	備考	金額
元気支援隊			
須 佐			
佐々木 登	山根丁東	社会福祉へ	金一封
田村 武司	下三原下	見舞い返し	金一封
旭			
野上 吉明	下市	社会福祉へ	金一封
㈩アイフィット山口	山口市平井	社会福祉へ	10,000円

(香典返し・一般寄付合計 111件 4,120,388円)

物品寄付

書き損じハガキ7件、切手2件、オムツ他2件、米1件、ファンヒーターファンガード1件、テレホンカード1件などのご寄付をいただきました。

あいおいニッセイ同和損保保険株式会社様より車椅子1台を寄贈いただきました。



善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。
どうかご協力ください。

お知らせ

ボランティア活動をサポートします

もしもの時のためにぜひご加入ください。

【ボランティア行事用保険】

地域福祉活動やボランティアの各種行事において、参加者のケガや賠償責任を補償します。

●掛 金 1名あたり28円 ※最低掛金560円より

【ボランティア活動保険】

ボランティア活動の事故に対する備えとして、無償で活動するボランティアの方々のための補償制度です。

●補償期間 加入手続き翌日～平成31年3月31日

●掛 金 基本タイプ 1名あたり350円より
天災タイプ 1名あたり500円より

【福祉サービス総合補償】

ボランティア団体・グループで行う有償のボランティア活動（住民主体サービス）も対象になります。

●補償期間 加入手続き翌日～平成31年3月31日

●掛 金 17円/28円/42円×延活動従事者数

【送迎サービス補償】

ボランティアで行う移送・送迎サービス中において、利用者の傷害事故に対する見舞金制度です。

●補償期間 加入手続き翌日～平成31年3月31日

●掛 金 *Aプラン（利用者特定方式）
＝20円×利用者数×年間利用日数
*Bプラン（自動車特定方式）
＝2,000円×車の定員数（車ごとに計算）

●問 合 せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

第17回「法と福祉のセミナー」開催

地域福祉と法律相談センターをつなぐことを目的として、「離婚」「相続」「生活困窮問題」に関する講話を行います。

●日 時 6月26日（火）14時～16時

●場 所 サンライフ萩

●主 催 萩法律相談センター

●そ の 他 本会のマイクロバスによる送迎あり

●問 合 せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

赤い羽根全国ミーティングinやまぐち開催

共同募金を通して「地域福祉の充実」と「共同募金運動の再生」の実現につなげることを目的として開催されます。（後日、本会ホームページに掲載または別途ご案内いたします。）

●日 時 7月12日（木）～13日（金）

●場 所 山口市「ホテルニュータナカ」ほか

●内 容 全体会及び各分科会

●問 合 せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

第8期 脳の健康「楽習会」開催

簡単な読み書き・計算で脳を活性化し、おしゃべりと仲間づくりを通じて健康寿命を延ばします。

●期 間 9月5日から平成31年2月27日までの
毎週水曜日午前中 30分程度

●対 象 要介護・要支援認定を受けていない市民

●定 員 14名（抽選。8月中旬に決定者に通知）

●参 加 費 月額2,300円程度（教材費含む）

●会 場 萩市総合福祉センター

●申込締切 7月25日（水）

福栄事務所が移転しました

●移 転 先 萩市大字福井下4013番地1
福栄総合事務所内 TEL0838-52-0338

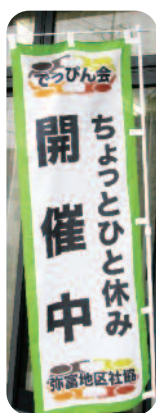


明日は我が身！ 今共にささえ合う大切さ

弥富地区社協・弥富でっぴん会

「なるべく診療所や介護保険のお世話にならないように、一日でも長く元気な笑顔で毎日を送りたい」「一人暮らしは寂しいもの、時には会話したりお茶したり、買物にも出かけたがいたい」そんなつぶやきが高まる中、昨年「弥富地区社会福祉協議会」そして「ささえあい協議体（弥富でっぴん会）」を発足しました。過疎・高齢化が今我が身にも迫ることを自覚し、できることからみんなで無理せず始めてみようという活動を始めました。

『ちよっとひと休み』が好評スタート



地区内の各種団体や個人の方々の意見交換から、暇な時間に茶話会や趣味等が楽しめる居場所（サロン開設）づくりを、弥富老人憩の家を開放し、当番制で行っています。毎週火曜日で、希望者には送迎もします。

『お買い物ツアー』も人気

地元では買えないものや盆、正月の買い出しに、ちよっと町までお買い物ツアー

弥富地区社協 会長 奥山 明

「。ついでにたまには外食も、とお出かけしています。」

『ちよっとサービス』を開始

除草、買物、通院、ゴミ出し等ちょっとした手助けがほしい時、サービス会員が支援（有償）に「弥富でっぴんGO」で駆けつけています。

些細な取り組みですが、お互いが楽しく、ストレスを解消しながら健康寿命を伸ばせるよう、また生活できるよう共助の輪を広めつつ地区一丸となって進めていきたいと思っています。

